

\*\*\*\*爆発事故からわかったこと・いじめ対策他は今議会で小室みえこが一般質問します\*\*\*\*  
 エパークリーン(株)の爆発事故でわかったこと!

## 国が責任を持って処理



11月15日に爆発事故を起こしたエパークリーンの敷地内に、国の基準値を超える8000ベクレル以上の放射性廃棄物が38tも保管されていました。昨年、埼玉県加須市の同社敷地内に置いてあった廃棄物を、埼玉県からの要請で野田事業所敷地内に戻した事は、ご存知の方も少なくないと思います。爆発事故後、千葉県に問い合わせましたが、教えてもらえず、環境省の担当部署に聞きました。

### 国の対応

◆放射性物質が含まれる廃棄物の保管場所の公表について。

→県には一応知らせてあるが、公表しない。  
 ※県は環境省のお許しがないと公表できない。  
 11月22日現在

### ◆保管方法

→保管場所に囲で漏れ出さないように保管し、掲示板を立てるだけ。

指定廃棄物=8000ベクレルを超える高い数値の放射性物質を含む廃棄物

・・・「放射性廃棄物」とは認識しづらく「量」の掲載もない。  
 『掲示板に「指定廃棄物」と記載してさえあれば、近隣の住民は放射性廃棄物を扱っていることがわかるはずだ』というまさかの見解。

野田市が放射能対策を行っている中、国が公表を伏せる大量の放射性廃棄物が野田市内に存在し、住宅地・学校からごく近い敷地に保管されていたのです!

### 小室みえこ 活動記録 2013年 秋

11月

- 1日(金) 事務所にて打合せ
- 2日(土) 報告書(行政視察・公会計講座)
- 3日(日) 九条議員連盟集会参加(千葉市)
- 4日(月) 書類作成
- 5日(火) 市民ネットワーク・のだ 運営委員会  
 県ネット代理人会議: 学習会「マイナンバー制」
- 6日(水) 通信搬入 仕分け 配達
- 7日(木) 市民団体との打合せ
- 8日(金) 駅まき(川間)  
 いじめ防止法推進会: 市町村としての対策打合せ  
 きぼーる: 子ども権懇話会参加
- 10日(日) 通信配達 ポストイン
- 11日(月) 通信配達 ポストイン
- 13日(水) 聞き取り 市庁舎内通信配り 市民相談(事務所)
- 14日(木) 市庁舎内通信配り・聞き取り  
 市民相談(紙ふうせん 岩名店)
- 15日(金) 12月市議会準備: 一般質問調査
- 17日(日) 要望書作成
- 18日(月) 通信配達・ポストイン  
 12月市議会準備: 一般質問調査
- 19日(火) 駅まき(清水公園)  
 いじめ防止法関連: 野田市教育長と面談
- 20日(水) 秘密法のFAX 予算要望関係調査
- 21日(木) 一般質問の準備(聞き取り調査含む)  
 街路樹関係アウトライン  
 日比谷野音: 秘密保全法反対集会参加

## 要望書を提出!

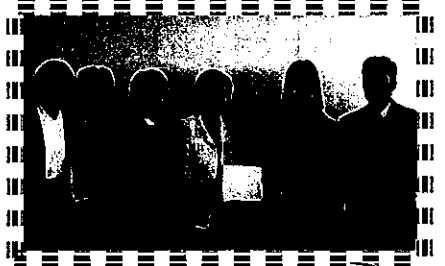
### いじめ防止対策推進法」9/28 施行

この法律は、2011年大津市で中学2年生の男子児童がいじめが原因で自殺した事件を受け、今年6月に国会において議員立法により成立しました。

各自治体においても「学校いじめ防止基本方針」の策定や「いじめの問題対策連絡協議会」の設置が求められています。

この法律が「絵に描いた餅」にならないよう

11月19日子どもへの暴力防止に携わる市民グループと要望書を野田市教育長に提出しました。



### 要望事項

- ①「学校におけるいじめ防止」体験活動に具体的なプログラム例として、子どもへの暴力防止プログラムの取り組みについても挙げてください。
- ②学校が民間団体を活用できるように、財政的措置を図って下さい。
- ③「いじめ問題対策連絡協議会」のような会議を設ける時は、構成員に子どもの権利に関する民間団体の代表を複数入れてください。また、当事者の子どもや親の意見を丁寧に聴く機会を作ってください。

### \*\*\*\*特定秘密保護法に反対する行動\*\*\*\*

- ①11月21日に日比谷野外音楽堂において秘密保護法反対の集会に参加。会場とその周辺には、1万人を超える参加者で埋まりました。集会後のデモ行進にも参加。
- ②千葉県内の衆議院議員20名に「保護法案に反対して!!!」とFAXを送信しました。

11月26日衆議院にてなんとなんと強行採決!

一般市民が【知ろう】とする行為も処罰の対象になります!

こんな、国民に背を向けるような法律は廃案に!

### 日比谷野外音楽堂

12月6日(金)

午後6時30分・開会

午後7時15分・国会請願デモ

(銀座デモコースもあり)

午後6時~6時30分・プレトーク

### 「秘密保護法」

廃案へ!

12.6 大集会

「特定秘密保護法案」の廃案まであと一歩! あまりにも危険な本質が知られるにつれ、各方面から反対の声がどんどん上がり続けています。

国に、政府に、私たちの声をぶつけましょう!